

# 岡山連携中枢都市圏 令和5年度の取組状況

令和6年8月30日  
岡山市政策局政策部政策企画課



【連携分野:圏域全体の経済成長のけん引】

①

取組	新たな産業の創出及び地域産業の振興	事務事業	スタートアップ企業支援	
関係市町	★岡山市 □津山市 ■玉野市 ■総社市 ■備前市 □瀬戸内市 □赤磐市 ■真庭市 □和気町 □早島町 □久米南町 □美咲町 ■吉備中央町 ※提案市町は★印			
事業概要／見込まれる効果／役割		取組実績(R5)		今後の課題・方向性
(事業概要) ・岡山市のスタートアップ支援拠点施設(ももスタ)の運営、及びももスタで開催されるイベントの広報・周知による広域での裾野の拡大 ・関係市町で事業を行っているスタートアップ企業への支援協力 ・関係市町と連携したイベントの開催  (見込まれる効果) ・地域経済の担い手として期待されるスタートアップ企業を目指す層を増やし、多くのスタートアップ企業を生み出す。  (岡山市の役割) ・スタートアップ支援拠点の運営 ・漠然と起業に関心を持つ層や起業を目指す層をターゲットにしたイベントの開催  (連携市町の役割) ・イベントの広報周知		【スタートアップ支援拠点施設の運営】 (岡山市)スタートアップ支援拠点において、連携市町の起業希望者も参加できるよう工夫を凝らしたイベントの開催。 (連携市町)スタートアップ関連のイベント等の広報周知に相互協力する。 【担当レベルでの情報交換の実施(必要に応じて随時)】 スタートアップ企業支援における各連携市町の状況や連携中核都市圏の今後の取組み等について、担当レベルで情報交換を実施。 【担当レベルでの連携拡大に向けての協議(必要に応じて随時)】 連携市町で実施されたスタートアップ支援事業について、担当レベルで情報交換を実施。		●スタートアップの裾野の拡大に繋げるため、スタートアップ関連のイベント等の広報周知に相互協力する。
KPIの状況	指 標	基準値	現状値	目標値
	拠点で開催されるイベント参加者数	1,800人 (令和2年度)	2,635人 (令和5年度)	2,000人 (令和8年度)

②

取組	新たな産業の創出及び地域産業の振興	事務事業	中小企業の経営健全化・人材確保等支援	
関係市町	■岡山市 ■津山市 ■玉野市 ★総社市 ★備前市 ★瀬戸内市 ■赤磐市 ■真庭市 □和気町 □早島町 □久米南町 □美咲町 □吉備中央町 ※提案市町は★印			
事業概要／見込まれる効果／役割		取組実績(R5)		今後の課題・方向性
(事業概要) ・圏域内企業と新規学卒者等とのマッチングを図るため、圏域内企業による合同企業説明会の開催と新規学卒予定者等への参加の呼びかけを実施(合同企業説明会) ・小規模企業に対するセミナーや後継者確保支援事業等の実施(セミナー)  (見込まれる効果) ・企業の人材確保につながる。(合同企業説明会) ・販路開拓や後継者確保等が促進される。(セミナー)  (岡山市の役割) ・合同企業説明会の開催に向けた調整及び取りまとめ(合同企業説明会) ・セミナー開催に向けた調整及び取りまとめ(セミナー)  (連携市町の役割) ・合同企業説明会の開催に向けた調整(合同企業説明会) ・セミナーの開催に向けた調整(セミナー)		(合同企業説明会) 【合同企業説明会の開催】 R5.10.26開催 参加企業数52社 (内訳:岡山市28社、津山市5社、玉野市3社、総社市5社、備前市3社、瀬戸内市3社、赤磐市3社、真庭市2社) 参加者66人(前年度より18人増) 【担当者会議の開催】 令和5年7月6日 事業の進め方につき、岡山市及び各市担当者の意見調整を行った。  (セミナー) 【小規模企業に対するセミナーの開催】 岡山商工会議所及び連携市との事前調整。講師との打合せ(セミナー内容・講師謝礼等)。セミナー当日の受付事務。セミナー実施に係る広報活動(チラシ作成・参加者募集等) 事業承継セミナー(R5.7.11開催) 参加者60名		(合同企業説明会) ●近年、新規学卒予定者等を対象とした合同企業説明会の参加者は減少傾向にあり、学生等の集客が課題。 ●また、学生の就職活動の変化などにも対応していく必要がある。 開催時期や手法については、アンケート等により企業、学生のニーズを分析し、地元企業の人材確保の機会創出につながるよう検討していく。  (セミナー) ●セミナーをハイブリッド方式にしたことにより、令和4年度より参加者が大幅に増加している。今後もニーズにあった開催方法、テーマ等を選定し、事業承継問題に直面している事業者の事業承継機運の醸成に努めていく。 ●直営で開催していたセミナーについて、本市が実施する事業承継支援をパッケージ化し、本セミナーもその一部として委託事業により実施予定。
KPIの状況	指 標	基準値	現状値	目標値
	合同企業説明会への参加企業数(合同企業説明会)	43社/年 (令和元～2年度)	52社 (令和5年度)	50社 (令和8年度)
	研修参加者人数(セミナー)	22人/回 (令和元年度)	60人/回 (令和5年度)	30人/回 (令和8年度)

【連携分野：圏域全体の経済成長のけん引】

③

取組	地域資源を活かした商品や農産物の販路開拓・拡大	事務事業	新規需要創出・喚起促進	
関係市町	<input checked="" type="checkbox"/> 岡山市 <input type="checkbox"/> 津山市 <input type="checkbox"/> 玉野市 <input type="checkbox"/> 総社市 <input type="checkbox"/> 備前市 <input type="checkbox"/> 瀬戸内市 <input type="checkbox"/> 赤磐市 <input checked="" type="checkbox"/> 真庭市 <input type="checkbox"/> 和気町 <input type="checkbox"/> 早島町 <input type="checkbox"/> 久米南町 <input type="checkbox"/> 美咲町 <input type="checkbox"/> 吉備中央町 ※提案市町は★印			
事業概要／見込まれる効果／役割		取組実績(R5)		今後の課題・方向性
(事業概要) ・真庭市と岡山市とで連携し、建築技術者、設計者、施主、木材関係者等を対象にCLTを使用した建築物の構造見学会を開催する。  (見込まれる効果) ・CLTを含む木材の需要が拡大する。  (岡山市の役割) ・構造見学会やセミナーの参加者募集及び当日準備  (連携市町の役割) ・構造見学会やセミナーの開催及び参加者募集		【構造見学会等の開催】 令和5年9月29日に奈義町にてCLTセミナー及び構造見学会を実施 セミナー参加者80名		●関係市町の2市以外からの集客を増やせるよう、提案市である真庭市と協議し、より広報の強化を図り、集客に取り組む。
KPIの状況	指 標	基準値	現状値	目標値
	PRセミナー参加者数	476人(累計) (平成29～令和2年度)	160人(累計) (令和4～5年度)	500人(累計) (令和4～8年度)

④

取組	地域資源を活かした商品や農産物の販路開拓・拡大	事務事業	特産農産物PR	
関係市町	<input checked="" type="checkbox"/> 岡山市 <input type="checkbox"/> 津山市 <input type="checkbox"/> 玉野市 <input type="checkbox"/> 総社市 <input checked="" type="checkbox"/> 備前市 <input checked="" type="checkbox"/> 瀬戸内市 <input checked="" type="checkbox"/> 赤磐市 <input checked="" type="checkbox"/> 真庭市 <input checked="" type="checkbox"/> 和気町 <input type="checkbox"/> 早島町 <input type="checkbox"/> 久米南町 <input type="checkbox"/> 美咲町 <input type="checkbox"/> 吉備中央町 ※提案市町は★印			
事業概要／見込まれる効果／役割		取組実績(R5)		今後の課題・方向性
(事業概要) ・岡山市で開催する大規模な産直イベントにおける特産農産物のPR ・県内外でのイベント等を活用した特産農産物のPRの実施 ・担当者会議を開催し、圏域内外における特産農産物のPRについて情報共有や新たな手法の検討を行い、具体化を図る。  (見込まれる効果) ・各地域の特産農産物の知名度を向上させることができる。  (岡山市の役割) ・産直イベントの出店調整 ・担当者会議の開催 ・PRイベント等の実施に向けた調整  (連携市町の役割) ・産直イベント出店者の確保 ・PRイベント等の実施に向けた調整 ・地元JA等農業者関係者との調整		【おかやま秋の収穫祭 地産地消マルシェ2023 (以下、「地産地消マルシェ」)の開催】 ●日時:令和5年11月4日 於:岡山市 【担当者会議の開催】 ●日時:令和5年7月12日 オンライン会議 参加市町:赤磐市農林課、瀬戸内市産業振興課、備前市農政水産課、真庭市産業振興課、和気町産業振興課 内容:地産地消マルシェでの特産物PR協力依頼について、今後の連携施策と事業の展開について ●日時:令和5年11月7日 オンライン会議 参加市町:赤磐市農林課、備前市農政水産課、和気町産業振興課 内容:地産地消マルシェの振り返り、今後の連携施策と事業の展開について 【新たなPR事業実施に向けての検討・実施】 ●PRイベントの開催にむけて検討を行ったが、R5年度中の実施予定はなし 【他圏域との連携】 高梁川流域圏連携中枢都市圏内生産者の地産地消マルシェへの出店。		●産直イベントにおける連携市町からの出展者の確保 ●PR事業に向けての連携市町との調整(実施方法と実施時期、PR農産物等) ●連携市町で開催されるイベントの情報収集、PR出展の検討
KPIの状況	指 標	基準値	現状値	目標値
	PRイベントへの延べ参加生産者数	13者 (令和3年度)	21者 (令和5年度)	18者 (令和8年度)

【連携分野：圏域全体の経済成長のけん引】

⑤

取組	地域資源を活かした商品や農産物の販路開拓・拡大	事務事業	食品製造業見本市共同出展	
関係市町	★岡山市 □津山市 □玉野市 ■総社市 □備前市 ■瀬戸内市 □赤磐市 ■真庭市 □和気町 □早島町 □久米南町 □美咲町 □吉備中央町 ※提案市町は★印			
事業概要／見込まれる効果／役割		取組実績(R5)		
(事業概要) ・新たな販路開拓に意欲ある圏域内の食品製造業企業を束ねて、首都圏で開催される大規模な食品製造業見本市へ共同ブースを出展する。  (見込まれる効果) ・圏域のものづくり企業の一体的な情報発信や食品製造業の販路開拓・拡大につながる。  (岡山市の役割) ・見本市の全体運営及び事前調整  (連携市町の役割) ・地域企業の取りまとめ		【食品製造業見本市への出展】 <出展した見本市> ●名称 第34回グルメ&ダイニングスタイルショー秋2023 ●会期 令和5年9月6日～8日(3日間) ●会場 東京ビッグサイト ●出展社数 計14社(岡山市8社、瀬戸内市3社、総社市2社、真庭市1社) ●見本市会期中の商談件数(全体) 1,017件 出展1社あたり平均商談件数 約72件 【担当者会議(岡山市主催)の開催】 R5.4.28にオンラインで実施。		
今後の課題・方向性		●商談件数増加への効果的な支援の検討が課題 ●誘客に繋がるブース造りや商談件数向上に繋がるサポート内容など、他の事例等も参考にした上で連携市間でも協議しながら、より効果を生み出す支援策を検討していく。		
KPIの状況	指 標	基準値	現状値	目標値
	見本市会期中の出展1社あたり平均商談件数	90件/年 (平成30～令和元年度)	72件 (令和5年度)	100件 (令和8年度)

⑥

取組	国内外に開かれた広域観光の推進	事務事業	圏域内周遊に向けた観光資源発信	
関係市町	★岡山市 ★津山市 ★玉野市 ★総社市 ★備前市 ★瀬戸内市 ■赤磐市 ★真庭市 ★和気町 □早島町 ■久米南町 ★美咲町 ■吉備中央町 ※提案市町は★印			
事業概要／見込まれる効果／役割		取組実績(R5)		
(事業概要) ・歴史や文化などの分野において、観光素材を活用した誘客に繋がる魅力的なテーマを設定し、テーマに関連した自治体が観光コンテンツの開発や情報発信を実施する。 ・日本遺産に認定されている古代吉備の遺産群を舞台とした桃太郎伝説のストーリー及び構成文化財を活用して、国内外に魅力を発信し、認知度の向上や観光誘客を図るとともに、地域と協力をした取り組みの継続により、郷土への愛着や誇りを育む。 ・圏域全体の交流人口の増加に向け、圏域の玄関口に位置し、圏域内有数の観光客数を誇る岡山城・岡山城周辺の観光施設を整備する。 ・圏域内最大の観光客数を誇る岡山城・岡山後楽園周辺の回遊の起点となる石山公園を再整備し、魅力や回遊性の向上を図る。 ・既存のサイクリングルート(吉備路、吉備高原)を再整備し、地域の自然・歴史資源をルートとともに紹介することで、多くの方にサイクリングルートと自然・歴史資源を体験してもらおう。 ・サイクリングルート利用促進のため、路面表示設置、案内看板の更新、路面段差解消や補修、サイクリングマップの作成・更新を行う。  (見込まれる効果) ・観光客の滞在時間の増加につながる。 ・圏域内観光客の増加につながる。  (岡山市の役割) ・事業の実施及び取りまとめ、関係団体等との調整 ・岡山城・岡山城周辺施設の整備 ・石山公園の再整備 ・サイクリングマップの更新・印刷 ・岡山市分の路面表示及び看板設置  (連携市町の役割) ・事業の実施、関係団体等との調整 ・再整備後の石山公園を含む岡山城周辺エリアの集客力を活用し、各地域を活性化 ・サイクリングマップの増刷 ・総社市分、吉備中央町分の路面表示及び看板設置の検討		【瀬戸内市との連携事業】 ●瀬戸内満喫周遊ツアーの造成販売(関西圏や首都圏からの誘客事業を実施) ●戦国宇喜多家に関するパンフレットを作成 【日本遺産活用推進事業】 観光誘客のための取組 ●吉備路エリア無料循環バスの運行(7月22日～9月18日までの土日祝に運行) ●吉備路エリア振興事業の実施(7月～9月、造山古墳マルシェ、ぶらり足守「もじ」あつめ、吉備ロマン重ね捺しスタンプラリー、最上稲荷八大龍王尊「雲龍図」特別公開) ●古墳まつりの開催(4月30日) ●日本遺産構成文化財を巡るデジタルクイズラリーの実施(7月22日～11月30日) ●古墳を巡るツアーの実施(11月11日、11月12日) ●レシビコンテストの実施(2月17日) ●JR桃太郎線オリジナルヘッドマークデザイン募集(4月10日～5月15日) ●日本遺産「桃太郎伝説」ラッピング列車の運行(8月11日～2月26日) ●日本遺産「桃太郎伝説」ラッピング列車に乗車するツアーの実施(8月11日、9月10日) 【他圏域との連携】 ●岡山県日本遺産認定自治体連絡会議 第1回：令和5年8月22日、場所：笠岡市北木島 ●県内7つの日本遺産と連携したパンフレット等の相互設置。 ●日本遺産フェスティバルにおいて、県内7つの日本遺産のブースを巡るスタンプラリーの実施。 【方針の決定】 岡山西側の丸周辺広場において整備する施設のゾーニングや施設規模、官民の役割分担等のとりまとめを行った。 【吉備路サイクリングルートマップの増刷】 ●岡山市7,500部増刷 ●総社市1,000部増刷 ●マップは観光案内所や民間のレンタサイクルショップ等で配布 【吉備高原サイクリングルートマップの配布】 ●マップは観光案内所や民間のレンタサイクルショップ等で配布		
今後の課題・方向性		●県外の誘客促進のための効果的なPR手法が課題 ●国内外への積極的なプロモーション手法を検討する。 ●石山公園の再整備計画については、岡山西側の丸周辺広場の整備条件等と丁寧に整合を図る必要がある。 ●サイクリングルートに案内が分かりにくい箇所があるため、サイクリングルートの案内が分かりにくい箇所へ路面表示や案内看板等を設置する。		
KPIの状況	指 標	基準値	現状値	目標値
	圏域内観光入込客数	19,043千人 (令和元年)	15,411千人 (令和4年)	23,000千人 (令和8年)

【連携分野:圏域全体の経済成長のけん引】

⑦

取組	国内外に開かれた広域観光の推進	事務事業	岡山型ムスリムツーリズムの推進	
関係市町	★岡山市 □津山市 □玉野市 □総社市 □備前市 □瀬戸内市 □赤磐市 ■真庭市 □和気町 □早島町 □久米南町 □美咲町 ■吉備中央町 ※提案市町は★印			
事業概要／見込まれる効果／役割		取組実績(R5)		
(事業概要) ・岡山型ヘルスツーリズム連携協議会の管理・運営 ・飲食店等観光関連施設に対するムスリム受入対応のブラッシュアップ ・岡山在住ムスリムと連携した情報発信や受入体制のブラッシュアップ ・ムスリム誘客のための国内外へ向けた各種プロモーションの実施 ・現地旅行会社やランドオペレーターとの関係構築  (見込まれる効果) ・ムスリムをはじめとする国内外からの観光客増加につながる。 ・観光客の滞在時間の増加につながる。  (岡山市の役割) ・事業の実施及び取りまとめ ・岡山型ヘルスツーリズム連携協議会の運営(事務局)  (連携市町の役割) ・事業の共同実施 ・岡山型ヘルスツーリズム連携協議会の会員としての参加		【国内ムスリム向け事業】 ●日本国内のモスクや日本在住のムスリムへの情報発信  【海外ムスリム向け事業】 ●岡山在住のムスリムにより構成されるムスリムネットワークと連携した情報発信 ●マレーシア及びインドネシアへ現地レップを設置し、現地旅行会社等との関係強化及び情報発信 ●旅行博への出展 ●教育旅行やインセンティブツアーの誘致 ●ムスリム向けWebサイト、Facebook、Instagram等による情報発信(英語及びインドネシア語) ●インフルエンサー招聘による情報発信  【受入体制整備事業】 ●ムスリム受入施設のブラッシュアップ		
		今後の課題・方向性		
		●他都市との旅行者の誘致合戦に負けないようムスリムを誘客していくため、JNTO等に岡山を認知させ、影響力のあるJNTO等からの情報発信に結び付ける必要がある。 ●コロナの影響で旅行者が減少し、ピーチマーク登録店舗がムスリムの受入に離れていたということもあり、改めて登録店舗へムスリムの受入に対する指導をする必要がある。 ●岡山地域の強みであるムスリムフレンドリーを前面に出し、BtoBやBtoCへ働きかけるとともに、JNTOなど影響力のある団体などに協力が得られるよう働きかける。 ●動画等を利用し店舗に対して指導を行う。		
KPIの状況	指 標	基準値	現状値	目標値
	ムスリム観光客宿泊者数	1,812人 (令和元年度)	1,489人 (令和5年度)	4,059人 (令和7年度)
	公式SNSのフォロワー数	12,000人 (令和3年度)	31,357人 (令和5年度)	24,000人 (令和7年度)

⑧

取組	国内外に開かれた広域観光の推進	事務事業	アートイベントの連携による情報発信	
関係市町	★岡山市 □津山市 ★玉野市 □総社市 □備前市 □瀬戸内市 ■赤磐市 ★真庭市 □和気町 □早島町 □久米南町 □美咲町 □吉備中央町 ※提案市町は★印			
事業概要／見込まれる効果／役割		取組実績(R5)		
(事業概要) ・関係市町で開催するアートイベントについて、情報共有や情報発信の相互協力を行う。  (見込まれる効果) ・圏域内外に広く周知することができる。 ・観光客の滞在時間の増加につながる。 ・圏域内観光客の増加が期待できる。  (岡山市の役割) ・担当者会議の開催と連携市町の情報収集、共有及び共有された関係市町情報のPR  (連携市町の役割) ・担当者会議への参加と情報提供、共有及び共有された関係市町情報のPR		【情報発信の相互協力】 ●岡山芸術交流開催決定記念イベントの開催時に、パネル展示で瀬戸芸等を紹介、チラシも設置 ●おかやまアーツフェスティバル2023の開催に合わせ、岡山市からパンフレットを送付し情報提供  【担当者同士の打合せ(電話、メール等による)】 ●メール等で連絡を実施		
		今後の課題・方向性		
		●岡山芸術交流や瀬戸内国際芸術祭など大規模アートイベントが開催されない年度の情報共有のあり方が課題 ●早めの情報共有に努める		
KPIの状況	指 標	基準値	現状値	目標値
	情報発信回数	5回 (令和元年度)	2回 (令和5年度)	5回/年 (令和4～8年度)

【連携分野：高次の都市機能の集積・強化】

⑨

取組	高度な中心拠点の強化	事務事業	市街地再開発事業の促進	
関係市町	★岡山市 □津山市 ■玉野市 ■総社市 ■備前市 ■瀬戸内市 ■赤磐市 □真庭市 ■和気町 ■早島町 ■久米南町 ■美咲町 ■吉備中央町 ※提案市町は★印			
事業概要／見込まれる効果／役割		取組実績(R5)		今後の課題・方向性
(事業概要) ・観光、MICE、文化等の機能を備えた市街地再開発事業に対して補助金を交付する。 ○岡山市表町三丁目10番11番23番24番地区第一種市街地再開発事業(文化機能)  (見込まれる効果) ・良好な都市環境や賑わいが創出され、交流が促進される。  (岡山市の役割) ・再開発事業者に対する補助金の交付  (連携市町の役割) ・都市機能を活用し、地域を活性化		●R4年度末で事業完了		/
KPIの状況	指 標	基準値	現状値	
	歩行者通行量 (旧銀ビル前)	1,143人/日(休日) 658人/日(平日) (平成30年)	1,790人/日(休日) 583人/日(平日) (令和6年)	3,600人/日(休日) 2,100人/日(平日) (令和6年)

⑩

取組	広域的交通網の整備・利用促進	事務事業	JRの利用促進と駅機能強化	
関係市町	★岡山市 ★津山市 ★玉野市 ★総社市 ★備前市 ★瀬戸内市 ■赤磐市 ■真庭市 ★和気町 ■早島町 ■久米南町 ■美咲町 □吉備中央町 ※提案市町は★印			
事業概要／見込まれる効果／役割		取組実績(R5)		今後の課題・方向性
(事業概要) ・交通結節機能強化 ・既存路線の利用促進  (見込まれる効果) ・利用者の公共交通の利便性向上が期待できる。  (岡山市の役割) ・岡山市域内での連携事業の実施 ・連携事業の進捗管理  (連携市町の役割) ・連携事業の実施		【岡山駅の交通結節機能強化】 【岡山市】●東口駅前広場整備工事の実施 【既存路線の利用促進】 【岡山市】●庭瀬駅北口駅前広場整備の完了 【津山市】●津山さくらまつり開催に対応した路線バスルートの変更 ●観光列車「あめつち」に対応したまなびの鉄道館への特別便ダイヤ設定 ●岡山県JR在来線利用促進検討協議会において、因美線の利用者等を対象にしたアンケート及び姫新線に係るシンポジウムの検討 ●加茂、阿波、勝北、久米地域における2次交通改善のためのAIデマンド交通実証実験(令和6年3月～) 【玉野市】・宇野線利用促進対策協議会への参加(令和5年10月)、検討事項に係る情報提供及び連携実施(通年) ●常山駅舎及び床面等のアート作品塗装工事 【瀬戸内市】大富駅は駅前整備が完了。邑久駅、長船駅に関してはJR駅前等整備事業を実施中。 【赤磐市】●JR西日本と設置場所や通信手段等の具体的な調整を進めていき、JR熊山駅へデジタルサイネージを設置し、時刻表及び停留所案内を発信することにより、公共交通利用者の利便性向上を図った。 【総社市】●東総社駅の利活用調査検討実施 【早島町】●駅機能強化に向け駅舎等整備に係る実施設計を令和4年度から2カ年で実施		●生活利用と観光利用の活性化に向けた利用促進活動の検討 ●R5岡山夏旅キャンペーン、R4瀬戸内国際芸術祭で盛り上がった観光需要への維持に向けた利用促進策の展開が必要である。 ●多額の事業費が必要となることから、予算の確保が課題となっている。 ●地域住民にとって利便性を高めるための、沿線自治体等と連携した取組 ●効果的な鉄道の利用周知を実施 ●市内で開催されるイベント等と連携した利用促進策の実施や、駅舎内における情報の掲示方法などPR手法の検討 ●デジタルサイネージ設置後、表示内容に時刻や遅延情報だけではなく、JRからのお知らせや近隣事業所の広告等を追加することにより、さらなる活用方法を検討 ●令和6年度から、早島駅舎等整備工事を2カ年かけて行う予定としている。
KPIの状況	指 標	基準値	現状値	目標値
	JR岡山駅乗降客数	13.9万人/日 (令和元年度)	13.1万人/日 (令和5年度)	14.4万人/日 (令和8年度)

【連携分野：高次の都市機能の集積・強化】

⑪

取組	広域的交通網の整備・利用促進	事務事業	岡山市と連携市町を結ぶ基幹道路ネットワークの整備	
関係市町	★岡山市 ★津山市 □玉野市 ★総社市 ■備前市 ■瀬戸内市 □赤磐市 ★真庭市 ■和気町 ★早島町 ■久米南町 ■美咲町 ■吉備中央町 ※提案市町は★印			
事業概要／見込まれる効果／役割		取組実績(R5)	今後の課題・方向性	
(事業概要) ・直轄国道の整備促進に向けた要望活動 ・岡山市と連携市町をつなぐ高速道路網の事業推進及び要望活動 ・圏域の連携に資する幹線道路の整備推進及び要望活動  (見込まれる効果) ・円滑な交通の確保ができる。 ・観光交流の拡大、企業活動の活性化、産業の振興、救命救急活動の迅速化さらには災害時の緊急輸送路の確保につながる。  (岡山市の役割) ・期成会・協議会の会長又は会員として、要望活動の実施 ・岡山市事業の推進  (連携市町の役割) ・期成会・協議会の会長又は会員として、要望活動の実施 ・利用促進や整備促進活動		【期成会・協議会を通じた要望活動】 ●国道2号岡山バイパス渋滞対策促進期成会 (夏)時期:令和5年6月8日 要望先:国土交通省岡山国道事務所、国土交通省中国地方整備局、国土交通省本省 (秋)時期:令和5年10月17日 要望先:国土交通省岡山国道事務所、国土交通省中国地方整備局、国土交通省本省・県選出国会議員 (冬)時期:令和6年2月9日 要望先:国土交通省岡山国道事務所、国土交通省中国地方整備局、国土交通省本省 ●一般国道180号岡山県整備促進期成会 時期:令和5年7月24日、25日、8月8日 要望先:岡山県、国土交通省岡山国道事務所、国土交通省中国地方整備局、国土交通省本省、県選出国会議員 ●空港津山道路整備促進協議会 (夏)時期:令和5年7月11日、8月2日 要望先:岡山県、国土交通省岡山国道事務所、国土交通省中国地方整備局、国土交通省本省、県選出国会議員 (秋)時期:令和5年10月4日、25日 要望先:国土交通省岡山国道事務所、国土交通省中国地方整備局、国土交通省本省、県選出国会議員 ●岡山自動車道利用促進協議会 時期:令和5年7月25日、26日 要望先:国土交通省中国地方整備局、西日本高速道路株式会社中国支社、国土交通省、県選出国会議員 ●国道429号道路整備促進期成会 時期:令和5年7月11日、8月1日 要望先:国土交通省中国地方整備局、国土交通省本省、県選出国会議員 時期:令和5年8月31日 要望先:岡山県 ●主要地方道落合建部線改良促進期成会 時期:令和5年8月18日 要望先:岡山県 ●岡山県中部高原地域整備促進期成会 時期:令和5年7月25日、26日、8月31日 要望先:国土交通省中国地方整備局、国土交通省本省、県選出国会議員、岡山県 ●国道2号(岡山県東部)整備促進期成会 時期:令和5年7月25日 要望先:国土交通省岡山国道事務所、国土交通省中国地方整備局、国土交通省本省、県選出国会議員 【協議会を通じた利用促進・啓発活動活動】 ●岡山自動車道利用促進協議会 海山マルシェ(海の市山の市 2023真庭)において、岡山自動車道を含む岡山米子線の利用促進PRブースを出展 日付:令和5年9月24日※会長都市が実施 場所:蒜山高原 三木ヶ原特設会場 ・沿線自治体のパンフレットを配布。岡山米子線利用促進イベント(スタンプラリー)のパンフレットを配布。岡山自動車道の利用促進を目的としたアンケートを実施 ●空港津山道路整備促進協議会 ・整備促進のための啓発看板維持管理 【市事業の推進】 ●美作岡山道路、吉備スマートIC、(主)久米建部線、(主)高梁御津線、(主)岡山吉井線	●今後も引き続き、事業計画に基づき要望活動を実施する。 ●今年度同様、着実に要望活動を実施する計画とした。	
KPIの状況	指 標	基準値	現状値	目標値
	要望活動の実績回数	10回 (令和3年度)	12回 (令和5年度)	10回以上/年 (令和4～8年度)

【連携分野：圏域全体の生活関連機能サービスの向上】

⑫

取組	福祉サービスの向上	事務事業	高齢者見守りネットワーク連携	
関係市町	★岡山市 □津山市 □玉野市 □総社市 ■備前市 ■瀬戸内市 ■赤磐市 ■真庭市 □和気町 □早島町 □久米南町 □美咲町 ■吉備中央町 ※提案市町は★印			
事業概要／見込まれる効果／役割		取組実績(R5)		今後の課題・方向性
(事業概要) ・連携市町に登録がある事業者からの通報対応 ・行方不明になった高齢者の捜索協力 ・一時保護した認知症の疑いのある高齢者の身元調査協力  (見込まれる効果) ・行方不明高齢者や身元不明高齢者の早期発見、早期の身元判明につながる。  (岡山市の役割) ・連絡会議の開催 ・市内関係各所との調整  (連携市町の役割) ・連絡会議への参加 ・各市町内の関係各所との調整		【担当者会議の開催】 令和5年4月に連絡会議を開催。 令和4年度に依頼していた、個人情報依頼・提供の法的根拠および運営要領について、連携市町間で調整、確認ができたため、「一時保護した認知症の疑いのある高齢者の身元調査協力」について令和5年5月1日より事業を開始した。 改めて各市町が考えている見守りネットワークおよび行方不明高齢者の捜索協力について課題の洗い出し等を行った。その結果を踏まえ、岡山市から各市町に見守りネットワークを優先的に進めるように提案する。 また、各市町に登録がある事業者の情報を提供してもらった。		●各市町間で事業の有無および事業の規定等に差がある、通報フローや通報基準等が明確化していない、通報する側と通報を受ける側で組織的にできること、してほしいことのすり合わせが必要である、見守りネットワークおよび行方不明高齢者の捜索協力については取り組み具合に各市町で差があるため、連携できない市町が出てくるといった課題がある。 ●まずは、必要に応じて事業者や地域包括支援センター等に聞き取りをしながら、事業フローやルール等について協議を進めていく。 その後、取り組み可能な市町のみで事業を取り組んでいく。
KPIの状況	指 標	基準値	現状値	目標値
	方針の決定	—	—	方針の決定 (令和5年度)

⑬

取組	福祉サービスの向上	事務事業	保育園等の広域入所	
関係市町	★岡山市 □津山市 □玉野市 □総社市 □備前市 □瀬戸内市 ★赤磐市 ■真庭市 ★和気町 ■早島町 ★久米南町 □美咲町 ■吉備中央町 ※提案市町は★印			
事業概要／見込まれる効果／役割		取組実績(R5)		今後の課題・方向性
(事業概要) ・関係市町間で、相互の幼児教育・保育の受け皿の状況及び広域入所に関する住民ニーズ等について情報を共有し、広域連携による保育園等の相互利用に向けた仕組みづくりを行う。  (見込まれる効果) ・利用者の多様な教育・保育ニーズへの対応ができる。  (岡山市の役割) ・担当者会議の開催、情報の収集及び取りまとめ  (連携市町の役割) ・担当者会議への参加、情報の収集		【広域入所の実施】 ●連携市町間の広域入所の実施 37名 (令和5年4月～6年3月末)  【担当者会議の開催】 ●令和5年6月23日…会議形式の検討及び協議事項の有無をメール照会 ●令和5年7月26日…書面会議 ●令和5年8月18日…協議事項のとりまとめ結果の共有		●必要に応じて会議を開催するとともに情報共有を図る。
KPIの状況	指 標	基準値	現状値	目標値
	入所手続きに来る来庁回数が1回以内の相談者の割合	100% (令和2年度)	100% (令和5年度)	100% (令和4～8年度)

【連携分野:圏域全体の生活関連機能サービスの向上】

⑭

取組	教育・文化・スポーツの振興	事務事業	学校教育に関する情報共有	
関係市町	★岡山市 □津山市 ■玉野市 ★総社市 □備前市 □瀬戸内市 □赤磐市 □真庭市 ★和気町 □早島町 □久米南町 □美咲町 □吉備中央町 ※提案市町は★印			
事業概要／見込まれる効果／役割		取組実績(R5)		今後の課題・方向性
(事業概要) ・学校教育において各市町が実施する特色のある取組について情報共有を行うことで、広域的な展開や共通する課題の解決に向けた検討を行う。  (見込まれる効果) ・学校教育における特色ある取組の広域展開や共通課題の解決につながる。  (岡山市の役割) ・情報の共有、担当者会議の開催  (連携市町の役割) ・情報の共有、担当者会議への参加		【担当者会議の開催】 第1回:令和5年7月19日 内容:各市町の特色のある取組や、相互参加が可能な授業研究会等について情報共有した。 第2回:令和6年3月11日 内容:来年度に向けた新たな取組について情報交換や協議を行った。		●年度当初の開催であったため、昨年度までの取組についての引継ぎに課題があった。第1回担当者連絡協議会の開催時期や内容の検討が必要である。 ●各自治体が課題や重点的な取組を精査したうえで協議しやすい時期に第1回の担当者連絡協議会を開催し、引き続き全2回ともオンラインで実施する。
KPIの状況	指 標	基準値	現状値	目標値
	担当者会議の回数	1回 (令和2年度)	2回 (令和5年度)	2回/年 (令和4～8年度)

⑮

取組	教育・文化・スポーツの振興	事務事業	交流学习	
関係市町	★岡山市 □津山市 □玉野市 □総社市 □備前市 □瀬戸内市 □赤磐市 ★真庭市 □和気町 □早島町 □久米南町 □美咲町 □吉備中央町 ※提案市町は★印			
事業概要／見込まれる効果／役割		取組実績(R5)		今後の課題・方向性
(事業内容) ・岡山市と関係市の学校間でインターネット等も活用し、統一テーマに基づく合同学習と交流を実施する。 ・ESDや水源の里シンポジウム等に関して、旭川流域の複数校が参加するプロジェクト学習等について検討する。  (見込まれる効果) ・持続可能な広域的学校間交流に向けた、学習環境と学習内容の充実につながる。  (岡山市の役割) ・会議の開催、交流学习の実施支援  (連携市町の役割) ・会議への参加、交流学习の実施支援		【交流学习の開催】 中和小学校が小串小学校を訪問に際し、事前にオンラインで交流後、10月11日(水)の訪問では、干潟を散策し、旭川下流に生息する生物について学習した。事後、手紙のやり取りにより感想などを共有した。令和6年2月8日(木)に小串小学校が中和小学校を訪問し、雪遊びや、小串小学校児童が作った竹炭での焚火等をした。インフルエンザの流行により、大豆からきな粉を作る活動は急遽中止したが、旭川でつながる両校のつながりについて発表し合った。		●学校の実態に即した交流が行われ、持続継続な交流ができていく。 ●今後も学校の実態に即したより良い交流の在り方を検討しながら継続していく。
KPIの状況	指 標	基準値	現状値	目標値
	交流学习の実施回数	2回 (令和2年度)	2回 (令和5年度)	2回/年 (令和4～8年度)

【連携分野：圏域全体の生活関連機能サービスの向上】

⑩

取組	教育・文化・スポーツの振興	事務事業	夜間中学設置の検討・準備・運営	
関係市町	★岡山市 □津山市 ■玉野市 □総社市 ■備前市 ■瀬戸内市 ■赤磐市 □真庭市 ■和気町 ■早島町 □久米南町 □美咲町 ■吉備中央町 ※提案市町は★印			
事業概要／見込まれる効果／役割		取組実績(R5)		今後の課題・方向性
(事業概要) ・夜間中学設置の検討(～R4) ・夜間中学の設置準備(～R6) ・夜間中学の運営(R7～) ※時期については予定  (見込まれる効果) ・様々な理由により実質的に義務教育を受けることができなかった圏域住民等の就学の機会が確保される。  (岡山市の役割) ・設置方針等の検討、協議の調整、会議等の運営 ・夜間中学の整備・運営  (連携市町の役割) ・夜間中学の整備・運営への参画		【夜間中学の施設整備及び教育課程等の検討】 ●夜間中学にかかる校舎改修設計 ●岡山市において、教育課程等を検討 【夜間中学の広報活動】 ●夜間中学に関するシンポジウムの開催 令和5年8月5日 於：岡山市 内容：映画上映、基調講演、パネルディスカッション、質疑応答 ●授業体験会の実施 第3回目 令和5年7月13日 体験者9名 第4回目 令和5年10月26日 体験者6名 第5回目 令和6年1月30日 体験者10名 【連携市町間の情報共有】 ●担当者会議の実施 第2回：令和5年11月29日 於：岡山市 参加市町：玉野市、瀬戸内市、赤磐市、早島町、吉備中央町 内容：夜間中学に関する情報交換、夜間中学開設に向けての取組状況・検討事項及び応分負担について 第3回：令和6年2月13日 於：岡山市 参加市町：備前市、瀬戸内市、和気町、早島町、吉備中央町 内容：夜間中学に関する情報交換、応分負担等について		●市民の夜間中学に対する認知度はまだまだ低いと感じており、引き続き、夜間中学に関する広報活動を実施し、広く周知していく。 ●令和4年度に策定した夜間中学設置基本方針をもとに、具体的な運営内容(課題)を整理するとともに、連携市町との応分負担についても検討を行う。
KPIの状況	指 標	基準値	現状値	目標値
	開設準備	—	—	完了 (令和6年度)

⑪

取組	教育・文化・スポーツの振興	事務事業	ESD実践	
関係市町	★岡山市 ■津山市 ★玉野市 ■総社市 ★備前市 ★瀬戸内市 ■赤磐市 ■真庭市 ★和気町 ■早島町 ■久米南町 □美咲町 ■吉備中央町 ※提案市町は★印			
事業概要／見込まれる効果／役割		取組実績(R5)		今後の課題・方向性
(事業概要) ・職員や地域住民を対象としたESD・SDGs研修の共同実施 ・関係市町と連携したイベントやパネル展示等による住民等へのESD・SDGsの啓発 ・各地域の課題に対するESD手法を用いた実践活動の検討 ・関係市町間での地域住民の学び合いや交流の機会の創出  (見込まれる効果) ・圏域住民のESD・SDGsについての認知度向上につながる。 ・ESD活動への参加が促進される。 ・ESD活動のネットワーク化が促進される。 ・相互に「学びあい、気づき、行動する」人づくりにつながる。  (岡山市の役割) ・担当者会議の開催 ・研修講師の手配及び打合せ ・岡山会場の手配 ・普及啓発イベント等の運営  (連携市町の役割) ・担当者会議への参加 ・各市町の研修における会場の手配、募集、広報 ・普及啓発イベント等の運営(真庭市)		【連携市町でのESD・SDGs研修会の実施】 ●瀬戸内市 R5.7.18(火) (参加者)42名(市職員、岡山連携中核都市圏職員、瀬戸内市ゼロカーボン推進パートナー企業) (主なテーマ)カードゲームで体感する「2050カーボンニュートラル」 ●備前市 R5.8.9(水) (参加者)32名(市職員) (主なテーマ)SDGs未来都市に学ぶ、SDGsの視点を入れた行政施策のつくり方 ●津山市 R5.10.13(金) (参加者)23名(津山市各公民館長) (主なテーマ)SDGsの「きそ」の基礎 【SDGs普及啓発のためのイベントを開催】 ●未来わくわくSDGsフェスタく岡山市> R5.8.24(木) (会場)イオンモール岡山 (参加人数)2,000人 (主なテーマ)みんなで楽しもう！SDGsゆうえんち オープニングセレモニー、おかやまSDGs王決定戦へ市町のキャラクター参加、取組紹介パネルの展示 ●真庭SDGs円卓会議く真庭市> R6.2.24(土) (会場)久世エスパホール (参加人数)会場内125人(別途オンライン傍聴可) (主なテーマ)これまでの真庭、これからの真庭 【他圏域との連携】 ●高梁川流域連携中核都市圏の研修会・啓発イベントに岡山連携中核都市圏の職員が参加 【その他】 ●実務担当者会議の開催 第1回：R5.5.26(金) 内容：令和4年度事業について、令和5年度事業について 第2回：R5.10.27(金) 内容：令和5年度事業について、令和6年度事業について		●参加者がSDGsに対して関心を集め、更なる理解促進につなげられるよう、研修や啓発イベントの内容を検討していく。 ●研修内容について、それぞれのニーズに合った内容となるよう幅広く検討する。
KPIの状況	指 標	基準値	現状値	目標値
	ESD・SDGs研修会の参加者数	338人(累計) (平成29～令和2年度)	206人(累計) (令和4～5年度)	450人(累計) (令和4～8年度)

【連携分野：圏域全体の生活関連機能サービスの向上】

⑱

取組	教育・文化・スポーツの振興	事務事業	岡山芸術創造劇場を活用した文化連携	
関係市町	★岡山市 ■津山市 ■玉野市 ■総社市 ★備前市 ★瀬戸内市 ■赤磐市 ■真庭市 □和気町 ■早島町 □久米南町 □美咲町 ■吉備中央町 ※提案市町は★印			
事業概要／見込まれる効果／役割		取組実績(R5)		今後の課題・方向性
(事業概要) ・岡山芸術創造劇場の整備及び開館に向けたプレ事業の実施 ・関係市町で行われている文化芸術事業やイベントの広報等の情報共有や情報発信の相互協力 ・新劇場で制作した作品やワークショップなどのコンテンツを関係市町で実施 ・関係市町で行っている文化芸術事業やイベントなどを新劇場の舞台で実施 ・関係市町と共同による創作作品の制作 など  (見込まれる効果) ・圏域の文化力の向上に資する。  (岡山市の役割) ・岡山芸術創造劇場の整備及びプレ事業の実施 ・担当者会議の開催、連携市町の情報の収集、共有及び共有された関係市町情報のPR  (連携市町の役割) ・担当者会議への参加、情報の提供、共有及び共有された関係市町情報のPR		【岡山芸術創造劇場の整備】 ●令和5年6月4日 プレオープン ●令和5年9月1日 グランドオープン ●令和5年10月1日 一般利用の開始 【連携市町への情報提供】 ●令和5年8月9日及び9月1日にメールにて劇場開館事業の情報を提供 【開館事業の実施】 ●9月1日のグランドオープン後、各種開館事業を実施 【その他】 ●令和5年4月4日 連携市町の首長を開館前の劇場に招待し内覧会を実施		●情報連携や情報発信力の強化、劇場整備後の具体的な連携の在り方が課題 ●引き続き情報連携を強化していくとともに、開館後の連携を検討していく。
KPIの状況	指 標	基準値	現状値	目標値
	施設整備	—	—	施設稼働 (令和5年度)

⑲

取組	教育・文化・スポーツの振興	事務事業	文学によるまちづくり推進事業	
関係市町	★岡山市 □津山市 ■玉野市 □総社市 ■備前市 ■瀬戸内市 ■赤磐市 □真庭市 □和気町 ■早島町 ■久米南町 □美咲町 ■吉備中央町 ※提案市町は★印			
事業概要／見込まれる効果／役割		取組実績(R5)		今後の課題・方向性
(事業概要) ・関係市町の文学に関する顕彰事業、ユネスコ創造都市ネットワークの文学分野に関する情報、啓発事業(シンポジウム、講演会、ブックフェア)などの状況を共有し、圏域内でPRする。  (見込まれる効果) ・地域への愛着や誇りの醸成 ・圏域内のさらなる交流及び文化力の向上  (岡山市の役割) ・岡山市文学賞をはじめとする文学に関する事業の実施 ・連携市町への情報提供 ・連携市町における文学関係事業をPR  (連携市町の役割) ・文学に関する事業の実施 ・関係市町への文学関係事業の情報提供 ・関係市町における文学関係事業をPR		【関係市町(連携市町及び岡山市)】 ●文学に関するイベント(文学フェスティバル)、朗読会等の情報提供 ●岡山商工会議所青年部主催の「愛LOVEおかやま川柳」に赤磐市教育委員会からも応募 ●赤磐市教育委員会主催の、永瀬清子展示室企画展「坪田譲治と永瀬清子 おかやま三大河川を愛したふたりの交流」、公開講座「薄田泣菫と芥川龍之介の交流」の広報協力として、文学創造都市岡山ホームページで告知 ●ユネスコ創造都市ネットワーク加盟記念祝賀会開催案内 【人材育成】 ●連携市町へのライター・イン・レジデンスのワークショップ参加募集に関する情報提供。連携市町からの参加もあった。		●関係市町への広がりが課題 ●関係市町の取組の共有などを行っていく。
KPIの状況	指 標	基準値	現状値	目標値
	文学関係事業のPR回数	—	7回 (令和5年度)	7回／年 (令和5～8年度)

【連携分野：圏域全体の生活関連機能サービスの向上】

⑳

取組	教育・文化・スポーツの振興	事務事業	トップスポーツチームの支援	
関係市町	★岡山市 ■津山市 ★玉野市 ■総社市 ★備前市 ★瀬戸内市 ★赤磐市 ■真庭市 ★和気町 ■早島町 ■久米南町 ■美咲町 ■吉備中央町 ※提案市町は★印			
事業概要／見込まれる効果／役割		取組実績(R5)		今後の課題・方向性
(事業概要) ・ホームゲームへの来場者数増加及び、圏域市町の広報機会創出に向けた取組を行う。  (見込まれる効果) ・圏域内の地域スポーツの発展が期待できる。 ・圏域内の交流人口の増加が期待できる。  (岡山市の役割) ・担当会議の開催 ・事業内容の提案、検討、実施  (連携市町の役割) ・担当会議への参加 ・事業内容の提案、検討、実施(参加)		【ホームゲームへの来場者数増加及び、各市町の広報機会創出に向けた取組】 ●ファジアーノ岡山、岡山シーガルズ、岡山リベッツ、トライフープ岡山のPRポスターを連携市町へ配布 ●ファジアーノ岡山、トライフープ岡山の健康スポーツ教室について連携市町へ参加者募集 ・ファジアーノ岡山・・・ウォーキングイベント(R5.4.22実施) ・トライフープ岡山・・・1DAYスポーツアカデミー(R5.12.17実施) ●連携市町協働イベントをホームゲームで開催 ・岡山リベッツのホームゲーム(R6.1.8)において実施 【担当会議の開催】 ・令和5年11月16日、担当会議の実施。令和5年度の事業内容について協議。 ・令和6年3月21日、担当会議の実施。令和5年度事業の報告と令和6年度事業内容について協議。		●より多くの連携市町がイベントに参加できるよう各市町へ呼びかけていく。(参加するメリットを感じてもらう。) ●事務計画に基づき、事業を進めていく。
KPIの状況	指 標	基準値	現状値	目標値
	各チームのホームゲーム平均入場者数(4チーム計)	5,800人 (令和2年度)	12,269人 (令和5年度)	13,300人 (令和8年度)

㉑

取組	地域生活機能の強化	事務事業	有害鳥獣対策研究	
関係市町	★岡山市 ■津山市 ★玉野市 □総社市 ■備前市 ★瀬戸内市 □赤磐市 ■真庭市 ■和気町 □早島町 ■久米南町 □美咲町 ■吉備中央町 ※提案市町は★印			
事業概要／見込まれる効果／役割		取組実績(R5)		今後の課題・方向性
(事業概要) ・各自治体で実施している被害対策について情報を共有し、各市町のより効果的な対策に生かす。  (見込まれる効果) ・有害鳥獣による農作物被害の減少につながる。  (岡山市の役割) ・担当会議の開催、情報の共有  (連携市町の役割) ・担当会議への参加、情報の共有		【担当会議の開催】 ●第1回 令和5年12月実施、於：岡山市 内容：高梁川流域連携中枢都市圏(倉敷市)との会議を開催し、農作物被害の軽減・防止のための広域連携について研究する。 ●第2回 令和6年1月実施、於：岡山市 内容：各市町の現状・課題を共有し、対策を考える。  【有害鳥獣対策の研究】 内容：アンケート調査と資料収集により、市町が連携した取組を研究する。		●会議を開催し、各市町の被害や対策の現状を情報共有する。
KPIの状況	指 標	基準値	現状値	目標値
	担当会議の回数	2回/年 (平成29～令和2年度)	2回 (令和5年度)	2回以上/年 (令和4～8年度)

【連携分野：圏域全体の生活関連機能サービスの向上】

22

取組	地域生活機能の強化	事務事業	森林機能の維持増進に関する研究	
関係市町	★岡山市 □津山市 ■玉野市 ■総社市 ■備前市 ■瀬戸内市 □赤磐市 ■真庭市 □和気町 ■早島町 ■久米南町 □美咲町 ■吉備中央町 ※提案市町は★印			
事業概要／見込まれる効果／役割		取組実績(R5)		今後の課題・方向性
(事業概要) ・森林環境譲与税を活用して実施する事業について、各市町の独自性のある取組に関する情報を共有する。  (見込まれる効果) ・森林環境譲与税の譲与が令和元年度から始まり、各市町が独自施策を展開して森林の持つ多面的機能の維持増進を図る中、その有効な活用方法について、関係市町と情報を共有し、研究することにより、多面的機能のさらなる維持増進を図る。  (岡山市の役割) ・担当者会議の開催、情報の共有  (連携市町の役割) ・担当者会議への参加、情報の共有		【担当者会議の開催】 ●第1回 令和6年1月30、於：岡山市 内容：各市町の譲与税の使途、今後の予定などを共有した。 森林環境譲与税担当者のみならず公共建築担当者及び木材組合関係者からの意見を取り入れ有効な森林環境譲与税の活用を図る。		●森林環境譲与税は使途が定められた譲与税であるが、各市町で活用方法が異なる上、全国的に「活用せず基金積立」という事例が非常に多いことが問題視されているため、その有効な活用方法について検討を行う必要がある。 ●当該年度の執行状況と翌年度予算の活用予定が同時に議論できる時期に担当者会議を毎年1回実施する。
KPIの状況	指 標	基準値	現状値	目標値
	担当者会議の回数	—	1回 (令和5年度)	1回以上/年 (令和5～8年度)

23

取組	地域生活機能の強化	事務事業	学生等による地域課題への取組	
関係市町	★岡山市 □津山市 □玉野市 □総社市 ■備前市 □瀬戸内市 □赤磐市 ■真庭市 □和気町 □早島町 ■久米南町 □美咲町 ■吉備中央町 ※提案市町は★印			
事業概要／見込まれる効果／役割		取組実績(R5)		今後の課題・方向性
(事業概要) ・岡山市が実施する「学生イノベーションチャレンジ推進プロジェクト」について、その活動範囲を従来の「岡山市内」から「圏域内」に拡大して実施する。  (見込まれる効果) ・地域づくりを担う人材育成と若者の地域への定着が推進される。  (岡山市の役割) ・連携市町の地域課題取りまとめ ・学生イノベーションチャレンジ推進プロジェクトの実施  (連携市町の役割) ・地域課題の提案 ・学生の活動に対する支援(課題の概要説明等)		【学生イノベーションチャレンジ推進プロジェクトの実施】 ●参加学生の人数 単一大学等のグループ数：7大学等から21グループ 199人 ●イベント ・中間報告会の開催 令和5年10月14日 ○各グループの活動報告 ○他グループの学生との交流を目的としたグループワーク 【お題：】 「学生が求めるやりたい仕事を岡山市内に増やすには」 「岡山市への移住者を増やすには」 「子育て中の親子が安心できる居場所を岡山市内に確保するには」 「スポーツ(運動)で岡山市の魅力アップするには」  ・活動報告会の開催 令和6年2月17日 ○各グループの活動報告 ○審査員によるグランプリ、準グランプリの決定  ●その他 ・連携市町の地域課題を取りまとめ、参加学生に「活動テーマ一覧」として提示 ・参加グループ(21グループ)のうち、1グループが岡山市のホテルと協働し、連携市町の農産物で新メニューを開発 1グループが開発した観光アプリ内に連携市町の情報を組み込んだ。 また、1グループが連携市町でのイベントを実施した。 ・連携市町の職員が、学生が活動内容を発表する活動報告会に参加		●参加者の卒業後の地域への定着促進にとどまらず、近隣の大学等の学生のUIJターン促進や関係人口増加にも貢献することが必要。 ●包括連携協定の締結の有無に関わらず、県内・近隣県の大学、短大に対象を拡大する。
KPIの状況	指 標	基準値	現状値	目標値
	連携市町の課題に取り組むグループ数	—	4組(累計) (令和4～5年度)	5組(累計) (令和4～8年度)

【連携分野：圏域全体の生活関連機能サービスの向上】

⑭

取組	災害対策の推進	事務事業	風水害対応力の向上	
関係市町	★岡山市 ■津山市 ■玉野市 ■総社市 ■備前市 ■瀬戸内市 ■赤磐市 □真庭市 ■和気町 □早島町 □久米南町 □美咲町 ■吉備中央町 ※提案市町は★印			
事業概要／見込まれる効果／役割		取組実績(R5)		今後の課題・方向性
(事業概要) ・風水害体験施設、水難救助訓練施設の整備(岡山市南消防署に整備予定) ・風水害体験施設(暴風雨等荒天時の状況を疑似体験できる施設)を使用し、「避難行動に関する研修」を実施 ・水難救助訓練施設を使用し、浸水域における救助技術や安全管理といった、「災害対応力向上に関する研修」を実施  (見込まれる効果) ・圏域内の大雨等による避難指示発令時の実効性の向上及び災害救助にあたる消防職・団員の対応力の向上  (岡山市の役割) ・施設整備 ・研修の企画、募集 ・施設を活用した研修プログラムの提供  (連携市町の役割) ・研修参加者の募集、取りまとめ、人数調整等 ・研修参加者の派遣に関する実務 ・研修参加に必要な装備・資機材の調達		【風水害体験施設、水難救助訓練施設の整備】 ●風水害体験施設…具体的活用方法の決定、具体的体験装置等の予算要求(入札準備) ●水難救助訓練施設…建築工事を開始(令和6年12月完了予定) 【連携市町間の情報共有】 ●施設整備状況等の情報共有(令和5年6月)		●引き続き、施設整備を進めて行く。連携市町に対しては、必要事項の情報共有を行っていく。
KPIの状況	指 標	基準値	現状値	目標値
	施設整備	—	—	整備完了 (令和6年度)

⑮

取組	環境保全の推進	事務事業	ごみ焼却処理相互支援	
関係市町	★岡山市 □津山市 ★玉野市 □総社市 ★備前市 ★瀬戸内市 ★赤磐市 □真庭市 ★和気町 □早島町 ■久米南町 □美咲町 □吉備中央町 ※提案市町は★印			
事業概要／見込まれる効果／役割		取組実績(R5)		今後の課題・方向性
(事業概要) ・ごみ焼却処理施設において、トラブルによる緊急停止時、総合保守点検時の停止によってピット残量に余裕がない時期の一時的受入れを、ごみ処理施設の余力の範囲で行う。  (見込まれる効果) ・安定的なごみの焼却処理につながる。  (岡山市の役割) ・ごみの受入れ  (連携市町の役割) ・ごみの受入れ		【ごみの一時的受入】 受入の必要はなく、実績なし		●連携市町との情報共有を図るとともに、受入について必要に応じ協議を行う。
KPIの状況	指 標	基準値	現状値	目標値
	ごみ処理受入率	100% (平成30年度)	—	100% (令和4～8年度)

【連携分野：圏域全体の生活関連機能サービスの向上】

②6

取組	環境保全の推進 圏域マネジメント能力の強化	事務事業	広域ごみ処理施設整備	
関係市町	★岡山市 □津山市 ★玉野市 □総社市 □備前市 □瀬戸内市 □赤磐市 □真庭市 □和気町 □早島町 ■久米南町 □美咲町 □吉備中央町 ※提案市町は★印			
事業概要／見込まれる効果／役割		取組実績(R5)		
(事業概要) ・国の方針に基づき、岡山ブロック構成市町と連携し、広域ごみ処理施設の整備を行う。  (見込まれる効果) ・安全・安定的なごみの焼却処理ができる  (岡山市の役割) ・岡山ブロック協議会の運営 ・可燃ごみ広域処理施設の整備  (連携市町の役割) ・岡山ブロック協議会への参加		【連絡会議の開催】 ●連絡会議の開催(令和5年4月19日、令和5年11月6日※書面開催) 【可燃ごみ広域処理施設整備事業】 ●令和5年7月22日建物解体工事説明会を開催 ●建物解体、(地盤沈下対策)遮水壁設置工事を実施		
		今後の課題・方向性		
		●連絡会議に作業部会を設置、毎月定期的に開催し、整備・運営に係る課題等を情報共有・協議した。 ●遮水壁設置工事において予期せぬ地中障害物を先行撤去するため追加費用が生じたが、工期内の事業完了に向けて解体工事を進めている。 ●連絡会議や作業部会を通じて整備及び運営に係る課題等の情報共有・協議を継続する。 ●近隣住民の生活に十分配慮するとともに、工期内の事業完了に向けて解体工事を着実に進めていく。		
KPIの状況	指 標	基準値	現状値	目標値
	施設整備	—	—	完工 (令和8年度)

②7

取組	環境保全の推進	事務事業	瀬戸内の海洋保全	
関係市町	★岡山市 ■津山市 ★玉野市 ★総社市 ★備前市 ★瀬戸内市 ■赤磐市 ★真庭市 ★和気町 ★早島町 ■久米南町 □美咲町 ■吉備中央町 ※提案市町は★印			
事業概要／見込まれる効果／役割		取組実績(R5)		
(事業概要) ・連携市町において、瀬戸内海に流入する河川の清掃活動を年2回(春、秋)同時期に行う。また、海に面した市町については、海岸の清掃活動も検討する。 ・「海ごみ問題」の意識啓発を図るため、フォーラム及びパネル展示を開催する。  (見込まれる効果) ・海ごみの削減及びごみ削減の意識の向上につながる。  (岡山市の役割) ・担当者会議の開催 ・岡山市での清掃活動の実施及び回収ごみの処分 ・フォーラム、パネル展の開催・運営  (連携市町の役割) ・担当者会議への参加 ・各市町内での清掃活動の実施及び回収ごみの処分 ・パネル(清掃活動報告)等の原稿案の作成		【担当者会議の開催】 第1回 令和6年3月29日 内容:各市町の取組み状況の共有等 【三大河川水系の河川等で清掃活動】 岡山市 R5.6.25 宝伝の海岸清掃 R5.5.7 岡山のランナー集まれ! 街中クリーン大作戦(中止) R5.11.5 岡山のランナー集まれ! 街中クリーン大作戦 津山市 R5.6.4 市内3河川についてボランティアによる清掃活動 R5.7.23 水の学校 玉野市 R5.7.2 リフレッシュ瀬戸内 R5.7.15 洗海祭MAMORU-守る- 総社市 R5.6.4、R5.11.5 クリーン作戦 備前市 R5.7.9 リフレッシュ瀬戸内 瀬戸内市 海ごみ回収 赤磐市 R5.9.3 市内一斉清掃 真庭市 R5.11.3~12 川ごみ海ごみ削減普及啓発事業 和気町 R5.9.23、10.14、R6.2.24、3.9 河川一斉清掃 早島町 R5.10.29 児島湖流域清掃大作戦&クリーンウォーキング 久米南町 該当なし 吉備中央町 8月、9月 町内一斉清掃(加茂川エリア) 2月 環境衛生協議会ごみ拾い 【「海ごみ」をテーマにしたフォーラム及びパネル展示の開催】 ●SDGs海川フォーラム2024~持続可能な社会に向けて~ 時期:令和6年2月10日(土) 参加規模:65人 内容:基調講演、連携市町の取組発信、活動団体の取組紹介等 ●SDGsパネル展 R6.2.9、10、13、14		
		今後の課題・方向性		
		●フォーラムやパネル展を継続して開催することで、海ごみ問題について考え学ぶ機会を提供するとともに、ごみのポイ捨て等に関する住民の意識や行動の変容につなげ、瀬戸内海の保全に繋げる。 ●連携中枢都市圏内の各市町による取組について情報共有を行い、圏域全体で海ごみ削減及びごみ削減の意識の向上に取り組んでいく。		
KPIの状況	指 標	基準値	現状値	目標値
	清掃活動への参加者数	1,000人/年 (令和3年度)	6,446人 (令和5年度)	1,500人/年 (令和8年度)

【連携分野：圏域全体の生活関連機能サービスの向上】

28

取組	環境保全の推進	事務事業	気候変動対策	
関係市町	★岡山市 ★津山市 ★玉野市 ■総社市 ★備前市 ★瀬戸内市 ■赤磐市 ★真庭市 ★和気町 ★早島町 ■久米南町 ★美咲町 ■吉備中央町		※提案市町は★印	
事業概要／見込まれる効果／役割		取組実績(R5)		今後の課題・方向性
<p>(事業概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・連携中枢都市圏の市町に近隣自治体、民間事業者、地元大学等を加え、好取組事例や課題の解決策を研究する。(※ゼロカーボン研究会)</li> <li>・単独自治体で実施するよりも、共同して行う方が効果的と考えられる事業を実施していく。</li> <li>・国の地域循環共生圏の考え方に沿った新たな事業について検討する。</li> </ul> <p>(見込まれる効果)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・二酸化炭素排出削減につながる。</li> </ul> <p>(岡山市の役割)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・担当会議や研究会等の開催及び連絡調整</li> <li>・情報収集及び取りまとめ</li> <li>・岡山市での連携事業の実施</li> </ul> <p>(連携市町の役割)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・担当会議や研究会等への参加</li> <li>・各市町での連携事業の実施</li> </ul>		<p>【担当者会議の開催】</p> <p>第1回：令和5年5月25日 於：中区役所2階多目的ホールB 内容：令和5年度の実施事業について</p> <p>第2回：令和6年1月17日 於：中区役所2階多目的ホールB 内容：令和5年度の事業報告について</p> <p>【ゼロカーボン研究会の開催】</p> <p>第1回：令和5年5月25日 於：岡山市中区役所 2階多目的ホールA 内容：市民・事業者の脱炭素化に向けた行動変容支援</p> <p>第2回：令和5年7月25日 於：おかやま西川原プラザ 本館2階 第1会議室 内容：地域に裨益する再生可能エネルギーの活用策</p> <p>第3回：令和5年10月13日 於：サラファーム笠岡、いちご笠岡岩野池ECO発電所 内容：脱炭素化に資する先進事例の現地視察</p> <p>第4回：令和5年11月19日 於：KURUN HALL 内容：家庭・市民の脱炭素化を考える</p> <p>第5回：令和6年1月17日 於：岡山市中区役所 2階多目的ホールA 内容：サーキュラーエコノミー(循環型経済)の推進による脱炭素化</p> <p>【「一斉ライトダウンキャンペーン」の実施】</p> <p>期間：令和5年6月21日～令和5年7月7日</p> <p>【Jクレジット制度の運用】(※津山市、備前市、真庭市、和気町、早島町が参加。)</p> <p>「あつ晴れおかやまエコクラブ」に1,511人が入会(うち岡山市の入会者数1,484人)</p> <p>【太陽光発電設備等共同購入事業】(※玉野市、瀬戸内市、赤磐市、和気町、早島町、吉備中央町が参加)</p> <p>852人が参加登録</p> <p>【ZEH普及啓発事業】(※総社市、備前市、瀬戸内市、赤磐市、真庭市、和気町、早島町、久米南町が参加)</p> <p>2施設で宿泊体験を実施</p>		<p>●脱炭素に対する意識レベルが市町によって異なる</p> <p>●既存事業への市町の参加を促すとともに、新規事業の導入を目指す</p>
KPIの状況	指 標	基準値	現状値	目標値
	共同実施する事業件数	1件 (令和3年度)	5件 (令和5年度)	4件 (令和8年度)

29

取組	環境保全の推進	事務事業	水辺教室等環境教育の推進	
関係市町	★岡山市 ■津山市 □玉野市 □総社市 □備前市 □瀬戸内市 ■赤磐市 ★真庭市 □和気町 □早島町 □久米南町 □美咲町 □吉備中央町		※提案市町は★印	
事業概要／見込まれる効果／役割		取組実績(R5)		今後の課題・方向性
<p>(事業概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各市町において企画した市民参加型の生きもの調査や里山づくり活動などの自然体験行事について、情報共有を行い、広報や実施結果の発信を行う。</li> </ul> <p>(見込まれる効果)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の河川環境への意識が高まり、河川の水質改善と河川環境の保全につながる。</li> </ul> <p>(岡山市の役割)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・担当会議の開催</li> <li>・自然体験行事等の実施</li> </ul> <p>(連携市町の役割)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・担当会議への参加</li> <li>・自然体験行事等の実施</li> </ul>		<p>【連携市間で情報共有した自然体験行事】</p> <p>いいかも！おかやまの自然Instagramフォトコンテスト'23春(岡山市)</p> <p>いいかも！おかやまの自然Instagramフォトコンテスト'23夏(岡山市)</p> <p>環境体験ツアー 水の学校2023(津山市)</p> <p>龍ノロトレッキングと自然観察隊(赤磐市・岡山市)</p> <p>第28回真庭トンボの森づくりイベント(真庭市)</p> <p>第29回真庭トンボの森づくりイベント(真庭市)</p> <p>いいかも！おかやまの自然Instagramフォトコンテスト'23冬(岡山市)</p> <p>環境体験ツアー 森の学校2023(津山市)</p> <p>連携協定成果報告会2024(岡山市)</p> <p>【担当者会議】</p> <p>第1回：令和6年1月30日</p> <p>参 加 市：津山市、赤磐市、真庭市、岡山市</p> <p>開催方法：Web会議(Zoom)</p> <p>内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 各市で実施した自然体験行事の概要</li> <li>② ピックアップ事業の紹介</li> <li>③ 次年度の予定</li> </ol>		<p>●より積極的に情報共有することを連携市に促していく</p> <p>●引き続き岡山市、連携市間で自然体験行事を情報共有し、今後の企画内容のブラッシュアップにつなげる。</p>
KPIの状況	指 標	基準値	現状値	目標値
	連携して行う自然体験行事数	1回 (令和2年度)	9回 (令和5年度)	6回 (令和8年度)

【連携分野：圏域全体の生活関連機能サービスの向上】

③⑩

取組	生活交通による公共交通ネットワークの充実	事務事業	路線バス等生活交通の維持・確保	
関係市町	★岡山市 □津山市 ★玉野市 □総社市 □備前市 ★瀬戸内市 ■赤磐市 □真庭市 □和気町 □早島町 ★久米南町 □美咲町 ★吉備中央町 ※提案市町は★印			
事業概要／見込まれる効果／役割		取組実績(R5)	今後の課題・方向性	
(事業概要) ・岡山市と連携市町を繋ぐ生活交通の確保 ・高齢者・障害者の運賃割引制度の対象エリア拡大の検討(岡山市⇒連携市町)  (見込まれる効果) ・利用者の公共交通の利便性向上が期待できる。  (岡山市の役割) ・連携市町との情報共有 ・連携取組の進捗管理 ・岡山市での連携事業の実施 ・公共交通会議の開催(案件が生じた場合)  (連携市町の役割) ・岡山市等との協議及び調整 ・各市町での連携事業の実施 ・公共交通会議の開催(案件が生じた場合)		【市町を繋ぐ生活交通の確保】 ●玉野市のコミュニティバスの路線延長、玉野市の乗合デマンドタクシー「シートタク」と岡山市灘崎町追川地区の乗合デマンドタクシー「ブンタク」との連携(岡山市・玉野市) 【玉野市】利用者ニーズの把握に向けた交通事業者等との協議、情報共有(6/30、8/28) ●岡山市東区西大寺と瀬戸内市を結ぶバス路線の用促進(瀬戸内市) ・バス路線再編に関する意見交換(11/29、12/14) ●岡山市・久米南町間のバス路線に関する検討(久米南町) ・御津建部コミュニティバスの久米南町への延伸は難しいとの検討結果を踏まえて他の接続方法を協議したが、現状では実現可能な接続方法はないとの結論に達した。 ●岡山市・吉備中央町間のバスネットワークの再構築及び利用促進に関する検討(吉備中央町) ・過年度及び令和5年度の利用実績を集計し、町内の交通見直しに取りかかる。  【高齢者・障害者の運賃割引制度の対象エリア拡大(岡山市⇒連携市町)】 赤磐市でも、岡山市で実施中の制度に倣い、令和6年2月から実施。令和5年8月に岡山県バス協会及び各事業者向けの説明会を開催し、令和5年9月末に両者と割引事業実施に関する協定を締結。令和6年1月に、各事業者での運賃割引試験が完了し、令和6年2月から実施。令和5年度は、割引対象市民約16,000人に対し2,000人に運賃割引専用ICカードを交付。	●シートバス及びシートタクの延伸に係る方針を交通会議で協議するにあたり、利用者ニーズを十分に把握する必要がある。 ●岡山医療センター線の利用が低調であるため、予約型や出発地点・到着地点の見直しを図っていく。 ●岡山市地域公共交通利便推進実施計画(第1弾)において、市域を跨ぐバス路線の再編を位置付けており、連携市町と実施に向けた協議を進めていく。 ●移動ニーズの把握に向けて、交通事業者等との協議や情報共有を進めるとともに、目的(娯楽、趣味、日常生活等)・頻度別など、一層の詳細なニーズの把握手法を検討する必要がある。 ●赤磐市での高齢者・障害者の運賃割引制度について、岡山市の実績等を参考に、円滑な事業実施に向け準備を進めていく。	
KPIの状況	指標	基準値	現状値	目標値
	主要バス路線利用者数	24,612人/日 (令和2年度)	29,874人/日 (令和5年度)	26,079人/日 (令和8年度)

③⑪

取組	圏域内への移住・定住の促進	事務事業	移住促進連携	
関係市町	★岡山市 ■津山市 ★玉野市 ★総社市 ★備前市 ★瀬戸内市 ■赤磐市 ■真庭市 ★和気町 ★早島町 ■久米南町 ★美咲町 ■吉備中央町 ※提案市町は★印			
事業概要／見込まれる効果／役割		取組実績(R5)	今後の課題・方向性	
(事業概要) ・移住希望者の多くの方が、県南や県北といった行政区域を越えての広域情報の提供を求めている傾向があることから、移住者ニーズに応えるため圏域内の市町と共同で各事業を実施する。  (見込まれる効果) ・圏域への移住人口の増加につながる。 ・圏域の知名度を向上させることにつながる。  (岡山市の役割) ・事業の実施と取りまとめ ・担当者会議の開催 ・移住相談イベント、おかやまぐらし相談センター及びウェブサイトの運営 ・移住下見ツアーの実施  (連携市町の役割) ・事業への参加、協力 ・担当者会議への参加 ・移住相談イベント、移住下見ツアーへの参加 ・おかやまぐらし相談センター、ウェブサイトの運営協力		【担当者会議の開催】※すべてオンライン 第1回：令和5年4月27日 内容：令和5年度事業について 第2回：令和5年6月28日 内容：今後の事業の進め方について 第3回：令和5年7月12日 内容：8/10オンライン座談会の運営について 第4回：令和5年7月26日 内容：9/1オンライン座談会の運営について 第5回：令和5年9月27日 内容：令和6年度の事業計画についての提案 第6回：令和5年11月29日 内容：1/26のオンライン座談会運営について 第7回：令和5年12月20日 内容：令和6年度の事業計画について 第8回：令和6年2月16日 内容：令和6年度事業スケジュールについて  【オンライン座談会の共同実施】 第1回：令和5年6月2日(全体会) 参加市町11市町 参加者11組 第2回：令和5年8月10日(部分会) 参加市町6市町 参加者3組 第3回：令和5年9月1日(全体会) 参加市町12市町 参加者7組 第4回：令和5年11月2日(部分会) 参加市町6市町 参加者2組 第5回：令和6年1月26日(部分会) 参加市町7市町 参加者5組 【ウェブサイト「GYOSANおかやま」の更新】 岡山連携中枢都市圏移住情報公式サイト「GYOSANおかやま」の情報を更新 【移住相談窓口「おかやまぐらし相談センター(東京・大阪)」の運営】 移住相談に加え、求人情報の提供も行う「おかやまぐらし相談センター」を設置 (R5窓口設置場所)東京 東京都千代田区 大阪 大阪府大阪市	●オンライン座談会をほぼ全ての市町参加の全体会と取って少数の市町参加にして細やかな対応ができる部分会の両方を実施したが、多くの市町の話を知りたい人が多いのか、部分会の集客に苦労した。 ●座談会形式だけではなく、セミナー形式も取り入れるなどオンラインイベントを工夫していきたい。	
KPIの状況	指標	基準値	現状値	目標値
	移住定住支援により圏域内に移住した人数	400人 (令和2年度)	610人 (令和5年度)	600人 (令和8年度)

【連携分野：圏域全体の生活関連機能サービスの向上】

32

取組	結びつきやネットワークの強化	事務事業	公共施設の相互利用の仕組み構築	
関係市町	★岡山市 ★津山市 ★玉野市 □総社市 ★備前市 ★瀬戸内市 ■赤磐市 ■真庭市 ★和気町 ★早島町 ■久米南町 ★美咲町 ■吉備中央町 ※提案市町は★印			
事業概要／見込まれる効果／役割		取組実績 (R5)	今後の課題・方向性	
<p>(事業概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>関係市町住民への図書館資料の貸出および、居住自治体図書館での返却サービスの提供。</li> <li>関係市町内の小学生を対象に、社会教育・観光施設等の特定の公共施設を無料で利用できるパスポートを作成するとともに、相互利用につながる事業を実施</li> </ul> <p>(見込まれる効果)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>図書館の利便性向上による利用促進につながる。</li> <li>公共施設の利便性向上による利用促進につながる。</li> </ul> <p>(岡山市の役割)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>担当者会議の開催、図書館相互返却サービスに関する統計集約、搬送費の契約及び広報資料作成</li> <li>実務担当者会議の開催、検討材料の情報収集及び意見取りまとめ、事業各種調整</li> </ul> <p>(連携市町の役割)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>担当者会議への参加、図書館相互返却サービスに関する統計データ・搬送データ送付</li> <li>実務担当者会議への参加、情報の収集、連携市町間での意見交換、事業各種調整</li> </ul>		<p>(図書館相互利用)</p> <p>【図書館資料の相互貸出】</p> <p>全体的にコロナ禍で落ち込んだ利用が戻ってきている状況が続いている。(貸出数・R元:11万4千冊、R2:11万1千冊、R3:12万3千冊、R4:14万8千冊、R5:16万1892冊)</p> <p>【担当者会議の開催】 R5年10月 書面開催 内容: 予算・PR方法についての検討・電子書籍についての情報交換</p> <p>(子どもパスポート)</p> <p>【子どもパスポート事業の実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子どもパスポート及び時点更新表の配布 配布時期: 令和5年7月 配布対象: 圏域内の小学校児童 子どもパスポート配布数: 3,000冊(転入生)、時点更新表配布数: 64,000枚(全児童)</li> <li>オリジナルキーホルダーが当たるガッチャンポンの設置(10市町11施設、令和5年7月19日～令和6年2月29日)</li> <li>イベントの実施 ・カプセルトイレ手作り体験 7月22日: 総社市、7月29日: 津山市、8月5日: 和気町、9月16日: 岡山市、9月23日: 真庭市、9月30日: 久米南町、10月7日: 赤磐市、10月14日: 吉備中央町、10月28日: 赤磐市 ・緑日 8月26日: 早島町、10月21日: 美咲町</li> <li>子どもパスポートを紹介するオリジナルマンガの特設サイトでの公開(令和5年9月～)</li> </ul> <p>【実務担当者会議の開催】 第1回: 令和5年8月4日 於: 岡山市 内容: 備前市の事業再参加について、令和4年度実績報告、令和5年7月末時点の実績報告、令和6年度以降の子どもパスポート事業について 第2回: 令和5年12月14日 於: 岡山市 内容: 令和5年11月末時点の実績報告、令和6年度子どもパスポート事業の実施について</p>	<p>(図書館相互利用)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>担当者会議の書面開催が続いているが、コスト面では削減が図られており、オンラインでの開催も検討している。昨年度の課題にあった相互返却の説明については、パンフレットの記述を見直し、分かりやすいものとした。パンフレットの記述のためだけではないが、相互返却の利用が増加した(R4年度: 778通→R5年度: 911通)。</li> <li>(子どもパスポート) 効果的な事業実施の検討が必要であり、庁内外関係者間で協議、情報共有をしながら進めていく。</li> </ul>	
KPIの状況	指 標	基準値	現状値	目標値
	住民一人あたりの図書館年間貸出冊数	6.1冊 (令和元年度)	5.6冊 (令和5年度)	6.2冊 (令和8年度)
	子どもパスポート掲載施設の利用者数 (利用者数を把握していない2施設を除く。)	1,195,144人/年 (令和2年度)	2,114,421人 (令和5年度)	2,000,000人/年 (令和8年度)

33

取組	結びつきやネットワークの強化	事務事業	包括連携協定に基づく公民連携	
関係市町	★岡山市 □津山市 □玉野市 □総社市 ■備前市 ■瀬戸内市 ■赤磐市 □真庭市 □和気町 □早島町 □久米南町 ■美咲町 ■吉備中央町 ※提案市町は★印			
事業概要／見込まれる効果／役割				
<p>(事業概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>連携中枢都市である岡山市が民間企業と締結する包括連携協定において、連携項目に「岡山連携中枢都市圏の取組に関すること」を新たに追加することとし、包括連携協定の効果を圏域全体に波及させる。</li> </ul> <p>(見込まれる効果)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>民間企業の有する資源(技術、ノウハウ等)を積極的に活用することで、圏域の持続的な発展を図る。</li> </ul> <p>(岡山市の役割)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>民間企業との包括連携協定の締結・改訂</li> <li>民間企業からの提案事業を連携市町に共有</li> <li>連携市町と民間企業との取組実施調整</li> <li>取組実施(セミナー、勉強会等)</li> </ul> <p>(連携市町の役割)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事業提案</li> <li>取組実施(セミナー、勉強会等)</li> </ul>		<p>【地方創生に係る包括連携協定に基づく公民連携事業の実施】</p> <p>協定締結企業については順次協議を行っているが、岡山県や他市町村とも既に協定締結している、営業所の管轄等が違う等の理由で、協定変更に至らなかった。 また、新たに企業と協定を締結するに至っていない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>岡山市と協定を締結している企業は、岡山県とも締結済み、管轄地域が異なるという理由で、連携項目の追加が困難な状況。</li> <li>連携市町、協定先企業と連携可能な事業について協議し、連携項目に盛り込めるよう努める。</li> </ul>	
KPIの状況	指 標	基準値	現状値	目標値
	連携中枢都市圏を対象とする協定の締結・改訂数	—	1件(累計) (令和4～5年度)	5件(累計) (令和4～8年度)

【連携分野：圏域全体の生活関連機能サービスの向上】

34

取組	結びつきやネットワークの強化	事務事業	市民協働事業の推進	
関係市町	★岡山市 ■津山市 ★玉野市 ■総社市 ★備前市 ★瀬戸内市 ■赤磐市 ■真庭市 ★和気町 □早島町 ■久米南町 □美咲町 ■吉備中央町 ※提案市町は★印			
事業概要／見込まれる効果／役割		取組実績(R5)	今後の課題・方向性	
<p>(事業概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>岡山市及び連携中枢都市圏における地域課題等に対応したフォーラムや各種研修・講座等を開催し、地域課題の解決に向けた手法・ノウハウ等を学ぶ。</li> <li>連携中枢都市圏における地域課題に対して、特技・ノウハウを有する市民活動団体等をコーディネーターとして派遣し、課題解決に向けた支援を行う。</li> <li>災害発生後の復旧期における災害ボランティアの重要性や災害ボランティア派遣の調整等に関する研修を行う。</li> <li>岡山市及び連携中枢都市圏において活動を行っている団体の活動を「おかやま団体検索サイト」へ登録、講座開催やSNS等を活用し、広く情報発信・情報共有する。</li> </ul> <p>(見込まれる効果)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>課題解決を行う主体的な市民活動の広域展開が促進される。</li> <li>市町の区域を越えて地域の課題解決を図る協働のパートナーの増加につながる。</li> </ul> <p>(岡山市の役割)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>担当者会議の開催</li> <li>研修・講座やコーディネーター派遣等の実施</li> <li>「岡山団体検索サイト」への登録やSNS等による情報発信</li> <li>その他、連携中枢都市として必要な事業の実施</li> </ul> <p>(連携市町の役割)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>担当者会議への参加</li> <li>研修・講座の参加やコーディネーター派遣の利用</li> <li>「岡山団体検索サイト」への登録やSNS等による情報発信</li> <li>その他、連携市町として必要な事業の実施</li> </ul>		<p>【フォーラム・研修会等の開催】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●市民協働推進本部会議の開催 R5.7.13 於：岡山市勤労者福祉センター 内容：講演「市民協働論：岡山市の取り組みと期待」・協働推進事業(1事業)の報告他</li> <li>●市民協働推進事業報告会・協働推進員研修会の開催 R5.7.3 内容：講演「学生との協働の進め方」・協働推進事業(1事業)の報告他</li> <li>●地域協働フォーラムの開催 R5.11.3 内容：講演「対話のまちづくり—魅力の「種」を育てるコミュニケーション—」と活動者による事例紹介他</li> </ul> <p>【コーディネーター派遣】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●玉野市 R5.8.25 内容：令和5年度玉野市協働のまちづくり推進研修の講師 コーディネーター：高平亮氏</li> <li>●津山市 R5.9.14 内容：外国人を地域おこし協力隊として採用するにあたっての制度設計についてのアドバイス コーディネーター：藤井裕也氏</li> <li>●総社市 R5.9.14、R6.6.13 内容：地域づくり実践報告会の進行 コーディネーター：藤井裕也氏</li> <li>●総社市 R5.9.15、R5.12.9 内容：総社市公式note活用研修の講師 コーディネーター：戸井健吾氏</li> <li>●真庭市 R6.3.5 内容：協働のまちづくりの指針の見直しに係る職員勉強会の講師 コーディネーター：高平亮氏</li> <li>●津山市 R6.3.21 内容：中学生だっぴの実施に関するアドバイス コーディネーター：森分志学氏</li> </ul> <p>【災害ボランティア講座の開催】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●災害ボランティア基礎講座の開催 R5.6.10 内容：災害ボランティアについての講演・グループワーク・体験発表</li> </ul> <p>【おかやま団体検索サイトの運営】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●岡山市のホームページをリニューアルし、各市町のホームページにリンクを設定し、情報発信を行う</li> </ul> <p>【圏域間連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●岡山連携中枢都市圏の開催研修 市民協働推進本部会議(R5.7.13) 市民協働推進事業報告会・協働推進員研修会(R5.7.3)</li> <li>●高梁川流域連携中枢都市圏の開催研修 備前県民局管内協働推進事務担当者会議(兼)高梁川流域協働推進会議(R5.7.31) 第2回高梁川流域協働推進会議(R6.2.6)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●災害ボランティアに関する担当部局が異なっており連携しにくい。</li> <li>●岡山市と各市町の共通する課題に対するフォーラム等を検討し、連携市町の参加を促進する。</li> <li>●コーディネーター派遣等により、各市町が持つ固有の地域課題に対して柔軟に対応する。</li> </ul>	
KPIの状況	指 標	基準値	現状値	目標値
	市民協働事業への参加者数	157人／年 (平成29～令和2年度)	480人(累計) (令和4～5年度)	800人(累計) (令和4～8年度)

35

取組	圏域マネジメント能力の強化	事務事業	外部専門人材の活用	
関係市町	★岡山市 ■津山市 ■玉野市 ■総社市 ■備前市 ■瀬戸内市 ■赤磐市 □真庭市 □和気町 ■早島町 □久米南町 ■美咲町 ■吉備中央町 ※提案市町は★印			
事業概要／見込まれる効果／役割		取組実績(R5)	今後の課題・方向性	
<p>(事業概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>岡山市が民間企業の最前線で活躍している、専門的な知見と豊富な経験をもつ人材(外部専門人材)を募集する。</li> <li>募集の結果、選ばれた外部専門人材は、対象分野における課題解決のために必要な助言・提案等を行う。または、職員のスキルアップのための研修を行う。</li> </ul> <p>(見込まれる効果)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>取組の実行性の向上と職員の知識等の向上につながる。</li> </ul> <p>(岡山市の役割)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>外部専門人材の募集</li> <li>研修会、個別相談会の開催</li> </ul> <p>(連携市町の役割)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>研修会、個別相談会への参加</li> </ul>		<p>【研修会・個別相談会】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●脱炭素分野 9月28日：外部専門人材の紹介(玉野市、総社市、早島町) 12月21日：脱炭素勉強会(総社市、瀬戸内市)</li> <li>●戦略的広報活動分野 10月16日：広報研修(赤磐市、美咲町、早島町) 11月6日：広報クリニック(美咲町(欠)) 12月22日：広報研修(津山市(欠)、赤磐市) 1月15日：広報クリニック(玉野市) 3月19日：広報クリニック(備前市)</li> <li>●DX分野 11月21日：オンラインでの研修会(玉野市、瀬戸内市、早島町)</li> <li>●データ活用 2月2日：研修会(玉野市、早島町)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●外部専門人材を活用している岡山市の担当課とのスケジュール調整</li> <li>●本格的に外部専門人材を活用する場合は個別に予算化が必要になるので、その点を連携市町に説明しつつ推進していく。</li> </ul>	
KPIの状況	指 標	基準値	現状値	目標値
	研修会等実施回数	—	16回(累計) (令和4～5年度)	5回(累計) (令和4～8年度)

【連携分野：圏域全体の生活関連機能サービスの向上】

36

取組	圏域マネジメント能力の強化	事務事業	人事交流・育成	
関係市町	★岡山市 ■津山市 ★玉野市 ★総社市 ★備前市 ★瀬戸内市 ■赤磐市 ★真庭市 □和気町 ■早島町 □久米南町 ★美咲町 ■吉備中央町 ※提案市町は★印			
事業概要／見込まれる効果／役割		取組実績(R5)		
(事業概要) ・関係市町の間で職員派遣(相互派遣等)を行う。 ・関係市町の間で職員研修の交流を行う。  (見込まれる効果) ・職員の資質の向上につながる。  (岡山市の役割) ・職員派遣に関する連携市町との個別協議 ・研修開催、取りまとめ  (連携市町の役割) ・職員派遣に関する岡山市との協議 ・研修参加		【圏域内市町の職員派遣の実施】 ●令和5年度の新規派遣については、実施実績無し ●令和3年4月～令和6年3月の期間、玉野市へ職員を相互派遣(1名) ●令和4年4月～令和6年3月の期間、瀬戸内市(消防)へ職員を相互派遣(1名) 【圏域内市町職員を対象とした研修の開催】 ●交流研修の選定 ●圏域内市町への連絡及び研修の案内 ●6つの研修を実施 A 会議で活かすファシリテーション研修(R5.8.22.20名(市15名、倉敷市1名、玉野市2名、備前市1名、吉備中央町1名)) B 資料作成力向上研修(R5.9.6.48名(市43名、倉敷市1名、総社市1名、赤磐市1名、瀬戸内市1名、早島町1名)) C 効果的な情報発信のポイントを学ぶ！SNS活用法研修(R5.8.1.35名(市23名、倉敷市8名、玉野市1名、美咲町1名、備前市2名)) D 若手・中堅職員の「主体性」開発研修(R5.7.27.46名(市27名、倉敷市2名、津山市1名、玉野市6名、総社市2名、赤磐市3名、真庭市1名、美咲町3名、吉備中央町1名)) E 情報収集・データ分析活用研修(R5.10.25.35名(市26名、倉敷市7名、瀬戸内市1名、吉備中央町1名)) F 都市経営講座(R6.1.11.149名(市143名、倉敷市1名、津山市2名、玉野市1名、赤磐市1名、瀬戸内市1名))		
KPIの状況	指 標	基準値	現状値	目標値
	圏域内市町職員を対象とする研修実施回数	6回 (令和2年度)	6回 (令和5年度)	6回/年 (令和4～8年度)

37

取組	圏域マネジメント能力の強化	事務事業	圏域データ等の活用	
関係市町	★岡山市 ■津山市 ★玉野市 ■総社市 ★備前市 ★瀬戸内市 ■赤磐市 ■真庭市 □和気町 ■早島町 ■久米南町 □美咲町 ■吉備中央町 ※提案市町は★印			
事業概要／見込まれる効果／役割		取組実績(R5)		
(事業概要) ・統計データ等を用いた地域分析に関する研修会や検討会等の開催  (見込まれる効果) ・圏域及び地域の特色等の分析により政策立案への活用が期待できる。 ・研修により関係市町職員の資質の向上につながる。  (岡山市の役割) ・研修会・検討会等の開催、 ・情報・データ収集、取りまとめ  (連携市町の役割) ・研修会・検討会等への参加 ・情報・データ収集、提供		【地域分析に係る研修会】 ●「圏域経済分析に関する研修会」 令和5年8月25日 於：岡山市(ハイブリッド開催) 参加市町：11市町(含む高梁川流域圏) 参加者数：24名 内容：岡山都市圏や高梁川流域圏の経済データ等を題材に、その特徴を掴む ●「データ分析研修」 令和5年10月27日 於：岡山市 参加市町：8市町(含む高梁川流域圏) 参加者数：20名 内容：実際のアンケート回答データを用いて、Excelで効率良くデータの集計・分析・可視化を実施する方法を習得する。 【地域分析に係るデータの更新】 ・連携中枢都市圏事業の推進に関わる、人口、行政インフラ等のデータ整理について、ホームページに公開しているデータの更新を6月に行った。 【他圏域との連携】 ・「圏域経済分析に関する研修会」へ、高梁川流域連携中枢都市圏の倉敷市・高梁市より10名が参加。		
KPIの状況	指 標	基準値	現状値	目標値
	研修参加人数	55人 (令和元年度)	44人 (令和5年度)	60人/年 (令和4～8年度)

【連携分野：圏域全体の生活関連機能サービスの向上】

38

取組	圏域マネジメント能力の強化	事務事業	パートナーシップ宣誓制度の導入促進及び都市間相互利用	
関係市町	★岡山市 ★津山市 ★玉野市 ■総社市 ★備前市 ★瀬戸内市 ■赤磐市 ★真庭市 ■和気町 ★早島町 ■久米南町 □美咲町 ■吉備中央町 ※提案市町は★印			
事業概要／見込まれる効果／役割		取組実績(R5)		
(事業概要) ・パートナーシップ宣誓制度の導入支援 ・都市間相互利用制度の導入促進 ・性的マイノリティに関する取組の効果的な実施に向けた調整  (見込まれる効果) ・多様性が尊重された都市圏を実現する。  (岡山市の役割) ・情報交換会の開催 ・情報収集、取りまとめ ・宣誓制度の導入及び都市間相互利用に関する調整  (連携市町の役割) ・情報交換会への参加 ・情報収集 ・宣誓制度の導入及び都市間相互利用に関する検討		【担当者会議の開催】 第1回 令和5年4月12日(メール) 内容：導入促進及び都市間相互利用のための情報交換 第2回 令和5年6月29日(メール) 内容：導入促進及び都市間相互利用のための情報交換、法施行後(令和5年6月)の各市の状況について 第3回 令和6年1月31日(メール) 内容：導入促進及び都市間相互利用のための情報交換、パートナーシップ制度の今後の連携における協定方法について 【都市間相互利用の促進】 情報交換会の開催・情報収集、取りまとめ・宣誓制度の導入及び都市間相互利用に関する調整を十分に行っており、新たに都市間相互利用の協定を域内(和気町、早島町)、域外(井原市)と締結することとして調整中である。		
		今後の課題・方向性		
		【課題】 ●今後、制度を導入する自治体(特に域外)への情報提供(支援)や事前協議(調整)をどのように行うか。 ●協定市町村が増えることに伴う協定締結業務の簡素化。※現在は各協定市町村の押印が必須。 ●導入済の自治体(域内外)、導入予定自治体(域内外)の異なる制度内容をどのように調整するか。 【方向性】 ●個々の自治体の制度は、当該自治体で検討することなので、求められている情報を把握し連携中枢都市圏で情報共有する。 また、域内を超えて、県全域に制度が拡充してきているため、制度の運用について、県と情報共有を検討する。		
KPIの状況	指 標	基準値	現状値	目標値
	情報交換会の回数	3回 (令和3年度)	3回 (令和5年度)	3回/年 (令和4～8年度)

39

取組	圏域マネジメント能力の強化	事務事業	行政サービス提供機能の最適化	
関係市町	★岡山市 ■津山市 ■玉野市 □総社市 ■備前市 ■瀬戸内市 ■赤磐市 □真庭市 □和気町 ■早島町 ■久米南町 □美咲町 ■吉備中央町 ※提案市町は★印			
事業概要／見込まれる効果／役割		取組実績(R5)		
(事業概要) ・岡山市等におけるRPA導入事例やその工程(実証実験スケジュール等)の構成市町への紹介、研修会(勉強会)の開催等を実施する。  (見込まれる効果) ・デジタル技術活用手法の圏域内市町での共有をはじめとする連携を図ることにより、将来的な自治体機能のプラットフォーム化も含めた圏域における行政事務の効率化や住民サービスの向上を目指す。  (岡山市の役割) ・研修会の開催 ・情報収集、取りまとめ  (連携市町の役割) ・研修会への参加 ・情報収集		【研修会の開催】 ●第1回 令和5年7月31日 オンライン 参加市町：津山市、玉野市、備前市、瀬戸内市、赤磐市、早島町、久米南町、吉備中央町 内容：岡山市のkintone、RPA取組事例紹介、行政手続オンライン化促進に関する意見交換 ●第2回 令和5年10月18日 オンライン 参加市町：津山市、玉野市、備前市、瀬戸内市、赤磐市、早島町、久米南町、吉備中央町 内容：ソフトバンクによるウェビナー(BPRやAI・RPAの活用事例を紹介し、DX推進を目的としたセミナー) ●第3回 令和6年1月22日 オンライン 参加市町：津山市、玉野市、備前市、瀬戸内市、赤磐市、早島町、久米南町、吉備中央町 内容：参加市町(津山市、備前市、瀬戸内市)の取組事例紹介		
		今後の課題・方向性		
		●全市町で積極的に意見交換できるよう、発表市町が偏らないように事例紹介を行っていく。また、外部講師による研修も検討していく。		
KPIの状況	指 標	基準値	現状値	目標値
	研修参加者人数	—	51人(累計) (令和4～5年度)	80人(累計) (令和4～8年度)

【連携分野:圏域全体の生活関連機能サービスの向上】

④①

取組	圏域マネジメント能力の強化	事務事業	外国人コミュニケーション支援	
関係市町	■岡山市 ★津山市 □玉野市 ■総社市 ■備前市 ■瀬戸内市 ■赤磐市 ■真庭市 □和気町 □早島町 □久米南町 □美咲町 ■吉備中央町 ※提案市町は★印			
事業概要／見込まれる効果／役割		取組実績(R5)	今後の課題・方向性	
(事業概要) ・行政窓口等での多言語対応に関する課題解決に向けた、外国人住民のコミュニケーション支援や行政情報の提供方法等について、関係市町での情報共有を行い、課題解決を図る。  (見込まれる効果) ・外国人住民のコミュニケーションにおける利便性向上を図り、誰もが暮らしやすい多文化共生の圏域構築が期待できる。  (岡山市の役割) ・連携市町との連絡、調整、協議、調査等の取りまとめ  (連携市町の役割) ・岡山市と連携し、協議、調査等に共同で取り組む		【外国人コミュニケーションアンケートの実施】 ●対象:令和5年9月1日時点における岡山市の住民基本台帳に記載されている外国人住民1,500件を無作為抽出 ●調査方法:回答フォームにリンクする二次元コードを付した案内を郵送し、フォームにアクセスのうえ回答入力 ●調査言語:やさしい日本語、中国語、ベトナム語、韓国語、英語 ●調査期間:令和5年9月12日～9月28日 ●回答数:173件(回答率11.5%) 【担当者連絡会議の開催】 日時:令和5年12月22日(場所:ほっとプラザ大供) 参加市町:津山市、総社市、備前市、瀬戸内市、真庭市、吉備中央町、赤磐市 内容:当該事業の役割分担、費用負担、KPIを協議した。	●住民への周知方法が課題であり、各市町の周知状況について担当者会議等を通じて共有し、今後の進め方を決めていく	
KPIの状況	指 標	基準値	現状値	目標値
	方針の決定	-	-	方針の決定 (令和5年度)

④②

取組	圏域マネジメント能力の強化	事務事業	公共施設の質・量の適正化に向けた仕組み構築 ※広域ごみ処理施設整備は②⑥に記載	
関係市町	★岡山市 □津山市 ★玉野市 □総社市 □備前市 ★瀬戸内市 ■赤磐市 ■真庭市 ★和気町 ★早島町 ■久米南町 ■美咲町 ■吉備中央町 ※提案市町は★印			
事業概要／見込まれる効果／役割		取組実績(R5)	今後の課題・方向性	
(事業内容) ・圏域内施設の状況の「見える化」及び発信 文化施設等、圏域内における住民利用施設について調査、及びデータ集約などの見える化と情報発信 ・圏域構成市町での公共施設相互利用の仕組みの構築 市内外の利用料金や施設予約システム等に伴う課題について、参加連携市町間で検討・協議 ・瀬戸内市新火葬場(仮称)の建設及び運営  (見込まれる効果) ・施設総量等の適正化及び、市民サービスの向上につながる。  (岡山市の役割) ・実務担当者会議の開催、検討材料の情報収集及び意見取りまとめ、事業各種調整(見える化、相互利用の仕組み構築) ・連絡会議の開催、進捗状況の把握、事業全般の協議(広域連携による火葬場の建設・運営) (連携市町の役割) ・実務担当者会議への参加、調査・情報収集、連携市町間での意見交換、事業各種調整(見える化、相互利用の仕組み構築) ・事業の推進、連絡会議の開催、進捗状況の情報提供、事業全般の協議(広域連携による火葬場の建設・運営)		(見える化・相互利用の仕組み構築) 【公共施設の相互利用の推進に係る事業の実施】 ①スポーツ施設ホームページの継続 ②文化施設ホームページの継続 【実務担当者会議の開催】 第1回:令和5年8月4日 於:岡山市 内容:備前市の事業再参加について、令和4年度実績報告 第2回:令和5年12月14日 於:岡山市 内容:備前市の事業再参加について、令和5年度以降のスポーツ・文化施設紹介チラシ作成(2種類の統合)、HP更新について(広域連携による火葬場の建設・運営) 【新火葬場の建設】 ●担当者会議の開催 令和5年4月14日 於:岡山市役所 内容:工事契約について 令和5年9月20日 於:岡山市役所 内容:盛土工事等及び建築等確認申請の進捗状況について 令和5年11月10日 於:岡山市役所 内容:工期変更について ●連絡会議の開催 令和6年2月6日開催 ・造成工事の施工監理、建物設計及び施工、火葬場運営手法の検討、設計施工業者の選定準備、物価高騰の事業費に対する影響	(見える化・相互利用の仕組み構築) ●圏域内における住民利用施設について調査及びデータ更新などを行う、施設の「見える化」については、対象施設、項目、発信方法を検討する。 ●圏域内のスポーツ施設、文化施設等を紹介するホームページやチラシを引き続き作成し、相互利用を促進する3事業目の検討など連携市町間で協議、情報共有しながら進めていく。 (広域連携による火葬場の建設・運営) ●事業の進行管理、事業費の抑制 ●情報共有を図りながら、計画通りの「スケジュール・事業費」の進行	
KPIの状況	指 標	基準値	現状値	目標値
	「見える化」事業数	1事業 (令和2年度)	2事業 (令和5年度)	3事業 (令和8年度)
	瀬戸内市新火葬場(仮称)施設整備	-	-	施設稼働 (令和7年度)